

分類名 [水稲]

4 多系品種「ササニシキBL」の追加品種「東北IL6号」

農業センター・古川農業試験場

1) 取り上げた理由

「ササニシキ」のいもち病真性抵抗性だけが異なる多系品種「ササニシキBL」は、いもち病の発生を抑制でき、防除回数を1回にまで減らすことができる。ただし、抵抗性を一層安定的に維持させるには現在の5品種の構成品種に、さらに、新たないもち病真性抵抗性を持つ品種の早期の追加が必要となっている。「東北IL6号」は、これまでの「ササニシキBL」といもち病真性抵抗性だけが異なり、その他の諸特性は「ササニシキ」と実用的に差が認められないので、多系品種「ササニシキBL」の構成品種に加える。

2) 普及技術

水稲奨励品種（系統名）東北IL6号

(1) 来歴

「東北IL6号」は古川農業試験場において、「ササニシキ」にいもち病真性抵抗性遺伝子 $Pi-ta$ の導入を目標に1977年8月から1990年3月まで、「曲系808」を1回親、「ササニシキ」を反復親とした戻し交配を計11回行って育成された系統である。

1985年に「東北IL6号」の系統名を付し、以降系統栽培された。さらに1989～1990年にBc8F7世代で、ササニシキを3回戻し交配し、以降系統栽培されたものを1997年に配布を受け、奨励品種決定調査で地域適応性の検討が行われてきたもので、1998年にはBc11F8世代になる。

(2) 特性の概要

- a いもち病真性抵抗性遺伝子型は $Pi-a$, $Pi-ta$ と推定される
- b その他の諸特性は「ササニシキ」と同程度で実用上同じである

3) 対象地域等

(1) 普及見込み地帯

ササニシキ栽培地帯に同じ

(2) 普及見込み面積

約9,900ha（ササニシキBL栽培面積）

4) 特に留意すべき事項

「ササニシキBL」栽培指針を遵守する

5) 背景となった主要な試験研究

- (1) 研究機関及び担当部科名 農業センター農産部稲作科，古川農業試験場栽培部作物科，各地域農業改良普及センター
- (2) 研究課題名及び研究期間 水稲奨励品種決定調査 平成7～9年

(3) 参考データ

表-1 特性一覧 (基本調査成績)

系 統 名	東北IL6号		交配組合せ		ササニシキ (12回) / 曲系808	
特 性	ササニシキのいもち病真性抵抗性同質遺伝子系統である。 長所 混合栽培により, いもち病の発病を抑制できる。					
調 査 地	宮城県農業センター			宮城県古川農業試験場		
調 査 年 次	標肥:平成7~9年, 多肥:平成8~9年			標肥:平成7~9年, 多肥:平成8~9年		
系統又は品種名	東北IL6号	ササニシキ		東北IL6号	ササニシキ	
早 晩 性	中生		中生		中生	
草 型	穂数型		穂数型		穂数型	
	標肥:多肥	標肥:多肥	標肥:多肥	標肥:多肥	標肥:多肥	標肥:多肥
出穂期 (月日)	8.06:8.09	8.06:8.08	8.09:8.10	8.10:8.10	8.10:8.10	8.10:8.10
成熟期 (月日)	9.16:9.19	9.17:9.19	9.26:10.01	9.27:10.01	9.27:10.01	9.27:10.01
稈 長 (cm)	81.2:84.4	81.6:82.9	81.5:83.2	79.6:81.6	79.6:81.6	79.6:81.6
穂 長 (cm)	17.6:17.8	17.8:17.8	17.1:17.1	17.4:17.5	17.4:17.5	17.4:17.5
穂 数 (本/m ²)	403:418	413:428	470:513	487:518	487:518	487:518
耐 倒 伏 性	やや弱	やや弱	やや弱	やや弱	やや弱	やや弱
穂 発 芽 性 ※	やや易	やや易	—	—	—	—
耐 冷 性 ※	やや弱	やや弱	—	—	—	—
耐 病 性	いもち病真性抵抗性※	<i>Pi-a, Pi-ta</i>	<i>Pi-a</i>	—	—	—
	葉いもち※	やや弱	やや弱	—	—	—
玄米収量 (kg/a)	56.8:59.0	58.0:59.7	61.4:65.0	59.6:65.4	59.6:65.4	59.6:65.4
収量対比 (%)	98:99	100:100	103:99	100:100	100:100	100:100
玄米千粒重 (g)	22.8:23.2	22.3:22.5	21.5:21.6	20.9:21.1	20.9:21.1	20.9:21.1
玄米品質	中上:中中	中上:中中	中下:中中	中下:中下	中下:中下	中下:中下
食 味	上中	上中	上中	上中	上中	上中

注) ※印は育成地及び特性検定地における評価。

食味は標肥区のみ試験結果。

表-2 奨励品種決定調査 (本調査, 予備調査, 現地調査) 成績の総括

出穂期 (日)	成熟期 (日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数比 (%)	玄米重比 (%)	玄米千粒重 (g)	倒伏の多少	病害等の多少			玄米品質	食味	
								いもち病葉	紋枯病穂	不稔			
0.1	-0.2	1.0	-0.1	98	100	0.5	0.1	-0.2	-0.1	0.0	0.0	0.1	0.1

注1) 表中の数値は, 穂数比及び玄米重比はササニシキを基準とした百分比, それ以外はササニシキとの差である。

2) 倒伏の多少, いもち病, 紋枯病, 不稔は無から甚までを0から5までの数値に変換した値。

3) 玄米品質, 食味は下下から上上までを1から9までの数値に変換した値。

4) 比較する品種に対して, 玄米品質, 食味は+が良い方向, 倒伏の多少, いもち病, 紋枯病, 不稔は-が少ない方向。

(4) 発表論文等 なし